



学校便り 琢磨

令和5年度 第3号 R5. 4. 28 三豊市立詫間小学校

授業参観、ありがとうございました。

4月22日(土)。実に4年ぶりに、全校一斉の制限の無い授業参観がありました。土曜日ということもあって、朝早くから、たくさんの保護者の皆様がお見えになりました。廊下をちらりちらりと見ている子どもたちの心の中が、手に取るように分かりました。

どのクラスも、張り切ってお勉強をしていました。きっと、その日の食卓は、授業参観の話で盛り上がったことでしょう。

授業参観の後は、体育館で、こちらも4年ぶりとなる「PTA総会」がありました。広過ぎるかなと思いながら敷いたカーペットがいっぱいになる程の保護者の皆様にご参加いただきました。ありがとうございました。

その後は、学級PTAがあり、これも4年ぶりに開催することができたことですが、学級役員さんの進行で、話合いや意見交換を行うことができました。

午後からは、詫間中学校の授業参観もあり、中学校に上のお子様がいらっしゃるご家庭は1日がかりの行事となったと思います。

本当に、ありがとうございました。



保護者の皆様からの質問について

学級PTA等で、学校に対して質問があった内容について回答させていただきます。

- 自治会外の自転車使用は?…1～3年は、自治会内、4～6年は、旧小学校区(詫間・大浜・箱浦)内とします。保護者同伴の場合は、この限りではありません。
- 23が60読書運動で、雑誌・漫画は対象外だが、漫画の区別が難しい…学習漫画は可です。学習漫画かどうかの区別が難しい場合は、図書館司書に問い合わせてください。(担任に連絡いただいてもかまいません。)
- 学級名簿の配布を希望…個人情報保護の観点から、学級名簿の配布はしていません。お子様に聞いていただきたいと思います。お子様に聞いても分からない場合、授業参観や学級PTAに来て確認いただきたいです。または、担任に問い合わせいただいても結構です。ただし、個人情報保護の観点から、保護者名、住所、電話番号等は、承諾無く教えることはできません。

1年生を迎える会

4月26日(水)。体育館で1年生を迎える会がありました。全校児童での、1年生を迎える会は4年ぶりです。入場から児童会役員の挨拶までは、全校生で行い、1年生と上級生との交流活動(ゲーム)は、5年生と6年生のみで行いました。最後に1年生から「お兄さん、お姉さん、大好きです!」との言葉があり、上級生も思わずにっこりしていました。



真鍋校長の独り言 その1

授業参観

先日、授業参観がありました。私は、3年竹組の国語の授業をしました。参観日に授業をしたのは、何と19年ぶりでした。授業をしていたもので、他のクラスの様子は全く分からなかったのですが、きっと、お家の方が見に来られて、うちの学校の子どもたちはみんな、はりきっていたのだと思います。3年竹組の子どもたちも、いつもがんばっていますけれど、この日は、いつも以上にがんばっていましたので…。

ところで、「校長が授業参観で授業をするなんて聞いたことないわ。」と思われた方もいらっしゃるでしょうし、「校長のくせに、授業があまり上手でないなあ。」と思われた方もいらっしゃるかも知れません。中には、「還暦過ぎても、がんばっているな、校長!」と、思いやりの目で見てくださいった方も、もしかしたら、いらっしゃるかも知れませんね。

私は、自分から、「担任の先生が復帰するまでの3週間、国語の授業は、私がします。そして、授業参観は、私がやります。」と、言ってしまったのです。なぜ、そんなことを言ったのかと考えても分かりません。とにかく、そうしたかったのだと思います。

その時、参観日には、せっかくだから、子どもたちが、がんばっている姿を見ていただきたいと思い、授業の最初と最後に、「みんなで役割を決めて音読」をしようと思ったのです。これだけの長い文章を、役割を決めて音読するのは、学習発表会でもなかなかできません。特別に練習したわけではなく、授業の中で、分担を決めて音読しただけです。だから、100満点で100点以上(125点だったかな?)だと、授業の終わりに、私は評価したのです。決してサービスで言ったものではありません。心からそう思ったのです。声がそろっていました。息が合っていました。友達が読む速さ・音量に、自分の読む速さ・音量を合わせていました。だから、素晴らしいのです。実に、素晴らしいのです。声がそろっただけではなく、心もそろったから素晴らしいのです。私は、本当に、授業をさせていただいてよかったと思いました。3竹の子どもたちのおかげです。

実は、私には娘が一人いまして、娘が小学生の頃には、授業参観には結構な回数、参加しました。娘は、とても「はずかしがり屋」で、小学校の6年間、参観日に手を挙げている姿を見ることは一度もありませんでした。担任の先生が、手を挙げていない娘を指名して、発表させていただいたことはありました。その時は、真っ赤な顔をして、小さな声でボソボソと発表(何かしゃべっている?)をしていました。まあ、親としては、手を挙げて発表する姿を見るなんてことは、完全にあきらめていましたので、いつも静かに勉強している後ろ姿を見て、他の子が発表するのを聞いて帰るのが当たり前だと思っていたのです。

ところが、ある日の参観日の授業で、一人ずつ音読する活動があつて、娘の声をしっかりと聞くことができました。「うちの娘、音読が上手だな!」と思ったのです。もしかしたら、このことがあつて、今回、「みんなで音読×2」をしようと思ったのかも知れませんね。

一方、子どもの頃の私は、とにかく「ハイ、ハイ。」と手を挙げました。「ハイは一回!」といつも担任の先生に叱られたものです。しかし、授業参観になると、ほとんど手を挙げることはありませんでした。それは、父親も母親も、参観に来てくれることは、ほとんど無かったからです。その上、昔、教員をしたことがある厳しい祖母(近くに住む瓦屋)が、親の代わりに授業を見に来て、授業中なのに私の席の横まで来て、「鉛筆の持ち方が違う!」とか、「左手で帳面(ノートのこと)を押さえて書きなさい。」とか、「お前は字がきたない、もっときれいな字を書きなさい。」と叱りまくるので、参観日は、静かになっていったのだと思います。以前の「独り言」に、母親が一度だけ参観日に来てくれた時、音楽の授業でしたが、その日に歌うページだけがなくて、とても情けないことになったということを書きました。私の子どもの頃の授業参観のいい思い出は、あまりありません。

そんなことを、あれやこれやと考えた(思い出した)今回の授業参観でした。